

TOP メッセージ

常磐精工株式会社は、スタンド看板の製造を中核事業として、自社工場による一貫生産体制と現場改善力を強みに成長してまいりました。ものづくりを通じて顧客価値を追求するとともに、人材育成と技術継承に取り組んでいます。

近年、施設・店舗における情報発信の在り方は大きく変化し、来店前の Web 検索や SNS での情報収集が一般化しました。これに伴い、「視覚訴求力(映え)」「インバウンド対応」など看板に求められる役割は高度化しています。また、環境配慮意識の高まりにより、製品の長期利用や循環型サービスへのニーズも拡大しています。

「Make Signs. Make Makers. 看板を作り、未来の作り手を育てる」というパーパスを掲げ、DXを推進し、看板製造を起点にもものづくりを革新する会社を目指します。

2026年2月17日

常磐精工株式会社
代表取締役 喜井 正太郎

DX 推進計画書

(1) DX ビジョンとビジネスモデル

DX ビジョン

スタンド看板のユーザーである施設や店舗のお客様は、ネットや SNS で情報収集をしてから来店するようになり、ユーザーニーズは「映え」や「インバウンド対策」などに変化してきています。同時に環境問題への意識向上により、スタンド看板を長く使えるサービスを求めています。

弊社はパーパスである「Make Signs. Make Makers. 看板を作り、未来の作り手を育てる」に向けて、「看板製造を起点に、ものづくりを革新する会社」を目指します。

ビジネスモデル

スタンド看板の新たな価値を創出し、また製造のみに留まらず、自社工場を持つ強みを生かした新たなサービスを提案し、ものづくりの枠を超えた新たな価値を創出します。加えて、オリジナルアルミフレームを活用した、試作開発サポート、新商品開発プラットフォームの運営、オープンファクトリー推進により、「ステイクホルダー（顧客、従業員、地域住民等）」のものづくりを革新します。

(2) DX 戦略

ビジネスモデルの実現に向けてデジタルツールやデータを活用し、事業概要設計・テストマーケティング・事業展開設計を行い、以下の事業を実施していきます。

- ・自社工場を持つ強みを生かしたサービスの提供
 - ①スタンド看板の保守・メンテナンスサービス
- ・スタンド看板の新たな価値の創出
 - ②生成 AI を活用した A3 サイズの「ギフト看板」事業
- ・救護器具兼用看板「サポートサイン」のマルチチャネル化
 - ③サポートサインの導入トライアルレンタル事業
 - ④サポートサイン × 広告モデル事業
- ・オリジナルアルミフレームを活用した新規事業
 - ⑤3D CAD によるアルミフレーム試作開発事業

1.DX 推進体制

各事業のメンバーや外部の支援者と連携しながら、社長自らDXを推進していきます。
また、各事業及びDX推進に向けたデジタルスキルを各担当と共に社長自ら取得していきます。

2.IT システム整備に向けた方策

全戦略共通

- ・既存販売管理システムへの管理項目追加
 - ・LP や SNS 等による Web 販促の実施
 - ・クラウドサービスやノーコードツールでの管理システム構築（検討）
- ①スタンド看板の保守・メンテナンスサービス
- ・Google フォームによる有償化に向けたアンケート実施
 - ・LINE 等を活用したダイレクトマーケティング
- ②生成 AI を活用した A3 サイズの「ギフト看板」事業
- ・生成 AI によるサンプルポスター試作とオペレーション確立
- ③3D CAD によるアルミフレーム試作開発事業
- ・Google フォーム等による試作依頼フォーム作成と活用
 - ・3D CAD ライセンス追加

上記で蓄積したデータを活用し、各事業及び新事業での付加価値を創造していきます。

(3) 「DX 戦略」の達成を測る指標

- ①企業価値創造に係わる指標
- ・各事業の売上額
- ②戦略実施により生じた効果を評価する指標
- ・各事業の販売件数
- ③戦略に定められた計画の進捗を評価する指標
- ・販売管理システムへの管理項目追加件数
 - ・LP や SNS 等による WEB 販促件数
 - ・生成 AI によるコンテンツデザイン件数

2026年2月17日

常磐精工株式会社

代表取締役 喜井 正太郎